

# 『ぱんだより』

※パンダからのお便りという意味で「ぱんだより」と名付けました。  
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート

第14号(2008年9月12日)「オーストラリア、エネルギー開発」

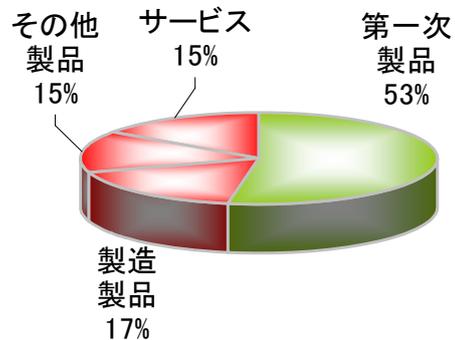


## 輸出大国として知られるオーストラリア

オーストラリアといえば、コアラやカンガルーなどの動物や一枚岩のエアーズロック、また世界遺産のグレートバリアリーフなど、壮大な自然をイメージする方が多いかと思えます。

また経済の面では、豊富な天然資源と穀物などが強みで世界的に資源輸出大国として知られています。しかし最近では、輸出品目として製造加工品の割合が高まっているようです。一番は、天然資源や穀物などの一次産品であることは変わらぬものの、これは意外な感じがしますよね。また、最大の輸出相手国は日本であり、輸出全体の約20%を占めています。

## オーストラリア2007年輸出



出所: DFAT STARS, 2008年7月

## 新エネルギーの開発はむしろ後発組?!

資源国として知られるオーストラリアは「掘れば何か出る」と言われるほど、非常に天然資源に恵まれた国です。しかし、国内産出の化石燃料などの安価で豊富なエネルギー資源を享受してきたがゆえに、新エネルギー分野では遅れを取ってきたとも言われています。特に世界有数の石炭産出国ということもあり、石炭による発電量は全体の約8割を占め、「国民一人当たりの温室効果ガス排出量世界一」という不名誉なレッテルまで貼られているようです。

ところが、2007年末に誕生したラッド新政権は、「直ちに地球温暖化対策に取り組むべき」という国民の多数派意見を真正面で受け止め、スピーディーな政策を展開しています。新内閣発足と同時に新設された気候変動担当相には、マレーシア生まれの中国系移民で39歳の女性ペニー・ウォン氏が就任したことは、アジア系初の閣僚の誕生として話題となりました。

また、2007年末に南アフリカのケープタウンで開催された「地球観測サミット」では、地球で最も日当たりのいい場所は、太平洋の中央部、ニジェールのサハラ砂漠、そしてオーストラリアのほぼすべて、と伝えられました。こうしたことから、まさに今、日当たりのいい広大な国土を持つオーストラリアの今後の動向に世界が注目しているのです。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『 ぱんだより 』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



## 世界最大級のエネルギー塔

オーストラリアは、太陽の恵みと広大な土地を活かして、太陽光発電分野において世界をリードする可能性を秘めています。

現在、オーストラリア政府は、積極的に新エネルギー開発に力を入れて、太陽熱技術の「ソーラータワー」のプロジェクトを進めています。仕組みはとてもシンプルで、巨大な太陽熱収集施設のガラスの下の空気を太陽熱で加熱するというものです。その加熱された空気によって塔の中に設置されたタービンを駆動させます。既に発電容量50kWの試作モデルが、スペインで7年間テストされておりますが、その集熱器の直径は240m、塔高197mと巨大なものです。



専門家によると、タワーが高ければ高いほど効率が良くなることから、広大な土地を存分に使えるオーストラリアは発電塔の設置に非常に適した場所とも言われています。ちなみにそのタワーが完成したら宇宙からも見える、とも言われているようです。

また、2008年を目標に、オーストラリア南東部ヴィクトリア州で、世界最大かつ最も効率的と言われる太陽光発電所の建設プロジェクトが始動するとのことです。4億2,000万豪ドル(約400億円)の費用をかけたこの発電所は、完成すると、4万5,000世帯にクリーンエネルギーを供給するための十分な電力を生み出すように設計されています。人工衛星用に開発された高性能太陽電池で鏡を使って太陽光を集めることにより、通常の500倍の光を当て、発電量を飛躍的に高めます。

このソーラー・エネルギー事業は、太陽電池を用い154メガワットを発電し、なんと年間約40万トンの温室効果ガスの削減につながるようです。

## 紫外線対策先進国

太陽光資源に恵まれているオーストラリアには、逆に悩みもあります。それが紫外線問題です。オーストラリアは日本に比べて5~7倍近く紫外線が強く、皮膚がんの発生率が深刻化しているようです。そこで国をあげて強烈な紫外線対策を打ち出しています。この紫外線対策はとても徹底しており、特に子供達は大きなつばがついた特殊な帽子を被らなければならない、暑くても、寒くても、日焼けをしないようにしているようです。



(編集後記)オーストラリアの動物で一番人気なのはやはりコアラ。愛らしい顔つき、モコモコの容姿は大人にも子供にも大人気です。日本では動物園に行かなければ見れませんが、オーストラリアでは野生でその姿が見れます。また最近では世界初の青い目のコアラが誕生し話題になっているようです。



(知恵越え悟る&見に行っちゃイナ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。